

組合 NEWS

Faculty and Staff Union of Kanazawa University
金沢大学教職員組合執行委員会
金沢市角間町
Tel.076-262-6009 (FAX同じ) / 角間内線2105
E-mail kanazawa@ku-union.org
ホームページ http://www.ku-union.org/

2011年11月18日

通巻 1173 号

この号の内容

第68回定期大会の報告

第68回定期大会 2011年度方針を決定

10月28日(金)に角間キャンパス自然科学5号館において定期大会が開催され、2010年度活動総括、2011年度活動方針について活発な討論の上、全会一致で執行部原案が採択されました。

司会の山上副執行委員長が開会の挨拶を述べ、大会開催を宣言した。次に、角間北支部部の矢淵代議員、理学部分会の坂本代議員を議長に選出した。その後、大会運営のため資格審査、大会書記、議事録署名人を各2名選出した。参加者数は、参加代議員26名、委任状11名(合計37名)でした。代議員総数41名の過半数の出席で大会は成立した。尚、参加者総数は新旧執行委員17名、来賓2名、オブザーバー参加者2名他を含む52名でした。

新執行部挨拶

議事に先立ち、鷲山新執行委員長より新執行部を代表して挨拶があった。「昨年度の質下げに対する大学側との交渉が昨年度から継続しており、現在、争議状態にある。昨年度の経過をふま今年度は新たな局面を向かえているという共通認識の下、本日の定期大会を進めていきたいので協力をお願いします。」との意欲が示された。



来賓挨拶/他団体からのメッセージ紹介

来賓の2名から挨拶を受けた。

石川県医療労働組合連合会委員長 鈴木森夫氏

医労連の組合員の多くは民間の病院や介護施設で働いているが、常に公務員並みの労働条件を目指してきたため、公務員の労働条件が悪くなる現状に危機感をもっている。

昨年から全大教と看護職員の労働条件の改善の

運動をしているのでご協力をお願いしたい。

また、介護職場の労働条件の改善にも力を入れている。

これから、共に闘っていくことをお約束する。

つくしんぼ保育園理事長 飯田克平氏

大学や病院の支援を受け、昨年新園舎が完成した。

現在の制度では、入園可能な保育園がない場合は市町村に対応責任があるが、新しい制度では保護者の責任にされようとしている。

組合では児童福祉の面でも運動していただき、共に保育園に関してもご協力していただきたい。



次に、全国大学高専教職員組合、北陸労働金庫、全労済石川県本部、金沢大学生協同組合、北陸大学教職員組合より祝電・メッセージが寄せられたことが報告され、全大教のメッセージが紹介された。

2010年度活動総括と決算に関する討議

活動総括

2010年度書記長の石黒氏より、2010年度の活動に関する経過および総括について議案に則って報告があった。特に重点的な取り組みとして以下について説明があった。



賃金引下げ反対の取り組みに関しては、石川県労働委員会に「労働争議のあっせん」を申請した。

組合員拡大に関しては、未組合員も含めた交流・レクリエーション活動を積極的に実施、病院での説明会の実施、組合加入グッズ（リーフレット、ポスター、組合バッグ）などを用いて活動を行った。

各職場における労働条件改善の課題に取り組んだ。主な取り組みとしては、附属病院看護師の労働環境の改善（病院長交渉に本会からも出席）、非常勤職員の待遇改善、附属学校園における入試問題作成手当の支給など。

熊本大学教職員組合伊藤正彦委員長を招き、「国立大学法人における賃金交渉を考える」をテーマとした教研集会を開催した。賃金交渉の今後のあり方に対しても大きなヒントを与えてくれるものとなった。

会計報告

前年度会計担当の池下氏より会計報告がなされ、一般会計に関して金額の訂正がなされた。<支出>の予算の列の予備費と合計がそれぞれ5万円減と訂正された。訂正の理由は、昨年度の定期大会で女性部予算が5万円増額された際に必要であったことに対する処置がなされていなかったためである。続いて、監査委員の田邊氏より会計監査の結果報告があった。

質疑・応答

各支部・分会での活動報告

主として各支部・分会から活動報告がなされた。

角間北支部代議員：県立高校の教員を招いた教研集会において、学域・学類のあり方について話し合ったとの報告がなされた。



工学部分会代議員：レクリエーション活動（ソフトボール大会、ボーリング大会、日帰りバスツアーなど）職場懇談会での検討（教員評価制度を給与査定に使用させない）、技術職員の昇格改善（主任技術職員の設置、技術専門員への上位級の導入）、設備改善（自然科学棟3号館の一方通行の道の2車線化の要求等）などの取り組みについて報告がされた。

医学系四分会代議員：附属病院・医療関係の組合員数が少ないこと、4月の新入職員へのオリエ

ンテーションでの組合説明会が加入に結びついていないこと等の指摘があった。

団体交渉に関しては、本会の協力により、病院長・病院担当理事との団体交渉が実現した。話し合いのテーブルにつけた以上の成果はないが、交渉の実施は画期的であった。医薬保健学域長交渉については例年通り実施した。

2010年度の成果としては、新病棟において組合掲示板を二箇所設置したことが報告された。

2010年度女性部部長：女性部役員を選出について支部分会からの協力について感謝の意が述べられた。新年度から女性部役員を各支部分会から1名以上選出していただけることになった。これまではヘッドハンティングで任期がなかったが、新制度より選出母体が明確になり、各支部分会との連携が図られることが期待できる。

以上のような議論を踏まえ、大会が成立していることを確認した後、2010年度活動総括案及び収支決算報告案は満場一致で採択された。



2011年度活動方針案と予算に関する討議

活動方針案

新執行委員の紹介後、清水書記長より2011年度活動方針案が議案書に則って提案された。特に以下の事項について重点的に取り組む旨の報告がされた。

2010年度からの引き継ぎ

教職員の労働条件の改善について、2010年度の給与引き下げに対する代償処置を継続要求する。

組合員拡大

そのためには組合の実力を高める必要があり、組合員拡大に重点的に取り組むこと示された。特に医学系四分会および新任教員について重点的に取り組む。

各職場での取り組み

附属病院に関しては看護師の労働条件の改善。非常勤職員に関してはボーナス支給及び常勤職員並

みの有給休暇取得条件への改善、健康診断や宿舍入居の実現。

附属学校園に関しては、公立学校からの転任教員の給与格差の改善、入試問題作成手当の支給。

教員に関しては、教員評価の給与との連動は認めないこと、任期付き教員の正規教員化、留学生増加に対する多忙化問題の改善。



各専門部活動の取り組みについては議案書通りに今年度の活動方針が報告された。

質疑・応答

給与削減における執行部の方針について

理学部分会代議員：国家公務員給与減額特例法案により人勧以上の給与削減が実施されようとしている状況において、執行部の方針を明らかにすることを求める。

執行部の回答：賃下げ自体を阻止することは難しいが、労使交渉、過半数代表との連携を通じて賃下げ幅の縮減、賃下げ時期の延期、代償措置を求める。ただし、今回の賃下げは、人勧ではなく震災復興を目的としており、現時点では大学の対応は不明である。

震災復興のための賃下げなら減額分は寄付

北支部代議員：国立大学法人における賃下げ分は国庫へ返納されないため、震災復興に役立たない。したがって震災復興のための賃下げならば、減額分全額を寄付するように提案してはどうか。

国立大学法人の状況 文科省へ情報提供

2010年度執行部：全大教を通じて賃下げ分は国庫に返納されない国立大学法人の状況を文科省へ情報提供するべきである。

賃上げに備えた準備を求める

執行部：給与を引き上げるのは予算の問題から難しく、賃上げに備えた準備を法人に求めたい。

給与反対の方針を明確に

工学部分会オブザーバー：政府は給与減額特例法案（平均7.8%減額）のみならず消費税、所得税の増税も画策している。この状況のなかで給与減額は



非常費に厳しく、執行部としては反対の方針を明確にすべきである。

執行部の回答：デモの実施予定はあること、その時には協力をお願いしたい。

角間北支部代議員：スト権を確立したうえで交渉に望むべきである。

執行部の回答：視野に入れている。

2010年度執行部：国家公務員については代償措置として労働基本権の回復があるが、私たちは何ら代償措置がないことも交渉の材料となる。

サバティカル制度

理学部分会代議員：教員のサバティカル制度に関する今年度の活動方針を明らかにすることを求める。

角間北支部代議員：サバティカル制度は学長が承認すれば来年度にでも実施される。

資金がないなら創基150周年事業は中止すべき

角間北支部代議員：資金がないのであれば、創基150周年事業は中止すべきである旨交渉で主張すべきである。

非常勤研究員に関する問題

理学部分会代議員：理工では、大学院生をインターンシップに出す場合、大学のポスドクの待遇で雇用している。この場合の雇用保険や労災保険の加入が心配である。以前に、雇用保険に未加入であった例もあり危うい。

組合加入の利点による組合員拡大

医学系四分会代議員：医学類・保健学類は角間キャンパスから離れていること、教授会に准教授以下が参加できないことなどから、情報ギャップが非常に大きい。例えば駐車場有料化問題について、組合を通じた情報提供を積極的に進めることにより組合加入の利点を感じてもらうことで、若手教職員の組合加入に繋がるのではないかと。



駐車場有料化問題

理学部分会代議員：駐車場有料化問題に関する執行部の方針について質問がなされた。

執行部の回答：執行部として大学に対して説明を

求める申入れを提出している。組合としては反対の立場をとる。ただし、これは就業規則の変更には当たらず踏み込みにくいのが問題である。この機会に本学の通勤手当の算出方法について議論すること、宝町の駐車料金（18,900円）についても改善を求めるなどの必要がある。

教員評価問題

角間北支部代議員：奈良女子大学では教員評価を給与査定に反映させており、給与に数百円の差が生じている。全国の大学の状況について全大教を通じて調査すべきである。

ハラスメント問題

医学系四分会代議員：パワハラ等のハラスメント対応の改善は労働条件の改善に繋がる。大学としてこれまで蓄積した事例を個人情報に配慮して公開することを求めている。



執行部の回答：情報開示についてはプライバシーの問題から難しいと考えるが要求することを検討する。執行部としては、総合相談室の充実（第三者の専門家の相談員を増やし相談しやすい体制とすること）を求めている。

以上のように討論がなされた後、大会が成立していることを確認した後、2011年度活動方針案は満場一致で採択された。

予算案

つづいて、2011年度予算案の提案が会計担当の數見氏よりあった。

質疑応答

レクリエーション支出の見直し

執行部：組合予算が赤字傾向のためレクリエーション支出の見直しを検討している。具体的には、新年会会場の変更や会費（参加者負担分）の増額等。

理学部分会代議員：現在は次期活動準備金を取り崩している状況であり、資金が無くなった時のことを憂慮する。組合員拡大を図り組合費収入を増額させることが求められる。

医学系四分会代議員：レクリエーションは新入会員拡大のキャンペーンとして重要であり、レクリエーション予算の減額は慎重にすべきである。

女性部予算について

理学部分会代議員：女性部の活動が組合員拡大に重要な役割を果たしてきたことから、重点的に予算配分するの一案である。



看護部長との懇談

医学系四分会代議員：女性部の大学側との懇談は、学長のみならず看護部長も対象にするようお願いしたい。

2010年度女性部長の回答：看護部長へは既に女性部から懇談の打診をしたが断られた経緯が紹介され、次期女性部執行部の意向もあるが、今後とも要請は続けたい。

スモークハラスメントについて

理学部分会代議員：現在、すべての事業所と工場に「全面禁煙」か、喫煙室以外での喫煙を禁止する「空間分煙」を義務づけることなどを盛り込んだ労働安全衛生法改正案が上程されている。

空間分煙が難しい場合、角間キャンパスでも全面禁煙の可能性があるが、実際に守れるかどうかの問題が残る。

2010年度女性部長：愛煙家の権利を奪うつもりはないが、スモークハラスメントは健康被害に直結する重要な問題である。また啓発の必要性についても言及された。

執行部の回答：スモークハラスメントについては今期執行部としても取り上げる。



以上のような議論を踏まえ、大会が成立していることを確認した後、予算案は満場一致で採択された。

特別執行委員の推薦及び承認

今年度の特別執行委員として、名古氏、村井氏、川幡氏、石黒氏の4名を満場一致で確認し承認された。

以上で、すべての議案の審議が終了し議長の解任が宣言され、あわせて議事進行への協力に対して謝辞が述べられた。山上副執行委員長より大会運営への協力に対する謝辞が述べられ、組合員拡大への取り組みについて改めて強い意志が表明され、定期大会の閉会が宣言された。